

平成28年度 学校経営方針（概略）

小平第十三小学校長
松原修

I 本校の教育目標 《十三小の目指す子ども像》

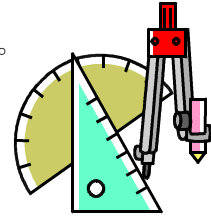
- 自ら考え行動する子ども … まなびワクワク
 - 明るく元気な子ども … からだイキイキ
 - なかよく助け合う子ども … こころウキウキ
- ワクワク イキイキ ウキウキ 100%

II 目指す学校像 **子どもたちの「笑顔」と「夢」があふれる学校**

III 教育目標達成に向けて具体的な方策

1 学力の向上

- (1) 意図的・計画的な学校・学年・学級経営
- (2) 「道徳の時間」の授業の充実を図る。
- (3) 算数科を中心に、考える楽しさを味わわせ、思考力を高める。
- (4) 学習規律を徹底し、家庭学習を習慣化させる。
 - ・家庭学習は、下学年は30分、上学年は10分×学年を目指す。
- (5) 各教科の基礎的な知識・技能の定着を図る。
- (6) 授業改善に取り組む。
 - ・授業にかかわる子どもの意識調査（年2回）を実施する。

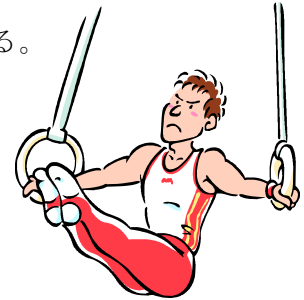


2 健全育成

- (1) いじめゼロ～自他を大切にできる心を育てる～の取組
- (2) 一人一人の子どものよさを伸ばし、個に応じた指導・特別支援教育を推進する。
- (3) 共通理解をもとに、組織的な対応を推進する。
 - ・教員が率先垂範し、登下校時や来校者にすすんであいさつする子どもの育成を目指す。

3 健康・体力づくり

- (1) 全面芝生の校庭を生かし、ふれあいタイムは外遊びを推進する。
- (2) 子どもたちの望ましい生活習慣を確立させる。
 - ・「早起き、早寝、朝ご飯」の啓発活動を実施する。
特に早起きに重点を置く。
- (3) 運動嫌いゼロの取組
 - ・オリンピック・パラリンピック教育を推進する。
- (4) 食育を推進する。



4 小・中連携教育の推進

- (1) 全教員でこだいら共通プログラム及び小平第二中学校区プログラムの理解を進め、二中並びに六小との連携を更に推進する。

5 特色ある学校づくりの展開

- (1) 校庭の全面芝生化による教育活動の実施（『裸足の運動会』の実施）と芝生管理を積極的に推進する。夏季休業中には、全教員で芝刈り活動に取り組む。
- (2) 学校支援ボランティアによる教育活動への連携・協力、環境整備を実施し、開かれた学校づくりを進める。
- (3) 小平市教育委員会から委託された「放課後子ども教室（十三小子どもクラブ）」への協力と連携を更に推進する。

IV その他

- (4) 保護者・地域に向けた積極的な発信
 - ・各種通信、ホームページ等を活用して、子どもの様子や成長など積極的な情報発信を行う。（週1回以上）
- (7) 開校50周年に向けて、地域との連携を深め、準備をスタートさせる。